

医療法人社団葵会

AOI 広島病院

看護部



1. 沿革

- ✿昭和38年2月 東広島市西条町寺家に西条精神病院として開設
- ✿平成 8年4月 エトワール西条病院に名称変更
- ✿平成28年4月 医療法人社団葵会グループとなる
- ✿平成30年6月 東広島市河内町入野へ移転しAOI 広島病院に名称変更

AOI 広島病院は、これまでも地域とともに歩んできた歴史ある精神科病院です。
変化の著しい医療界の中で、新しいものを積極的に取り入れながらも、
古き良きものは大切にし、地域の皆様に必要とされる病院を目指しています。

2. 病院の構造

6階：理事長室・院長室・医局・医師控室・医師当直室・看護部長室
第一会議室・第二会議室・カルテ庫・患者私物倉庫・洗濯室・消毒室

5階：精神一般病棟（5階病棟）40床 *内2床保護室（閉鎖）・作業療法室

4階：精神療養病棟（4階病棟）40床（閉鎖）・作業療法室

3階：精神療養病棟（3階病棟）60床（閉鎖）・作業療法室

2階：精神療養病棟（2階病棟）60床（閉鎖）・生活機能回復訓練室

1階：外来・薬局・地域連携室・放射線科・栄養科・事務部・防災センター
精神科デイケア

3. 看護部紹介

①コンセプト

まごころ
真心

真心には、『他人のために尽くそうという純粋な気持ち』という
意味があります。

私たち看護部職員全員がこの真心を胸に、患者さまだけでなく、
患者さまを支えておられるご家族さま等とも、心と心の触れ合いを
大切にしています。

②看護部理念

**「誠実な看護」「信頼される看護」「安心できる看護」を
モットーに、患者さまと心のかよう看護を提供いたします。**

真心をもって患者さまへ接し、信頼関係をはぐくみ、全ての患者さまが
安心して療養できる環境をつくるのが看護の使命であると考えています



③看護師の活躍の場

看護職員総数・・・83名（令和2年3月現在）

男女比率：男性23名（27.7%）女性50名（60.2%）

《入院医療部門》

🍀 5階病棟（精神一般病棟）

15：1看護の病棟で、当院で保護室を有している病棟です。
主に入院を受けている病棟ということもあり、
急性症状のある患者さまが多く入院されています。
また、身体合併症のある方で身体管理が必要な患者さまも
こちらの病棟で治療を受けていただいています。

🍀 2・4階病棟（精神療養病棟）

2階病棟60床・4階病棟40床の病棟です。
高齢者・認知症の患者さまが多く入院されている
病棟です。
こちらではQOLの向上に努めています。



🍀 3階病棟（精神療養病棟）

60床の病棟で、統合失調症、気分障害、アルコール依存症など、
認知症以外の患者さまが入院されている病棟です。
こちらでは、できるだけ早期の退院ができるよう、退院支援を他職種で
協力して行っています。



《在宅医療部門》

外 来

午前中のみ診療を
行っています。



精神科デイケア



様々な年齢層の利用者さんが
通所しながら、自分の目的に
合った活動を行っています。

4. 看護部教育ポリシー

教育は共に学び成長し合える『共育』である

看護部では、教育を共に学び成長し合えるものである『共育』と考えています。教える側は、自己を省みる機会となり、相手に正しく伝えるためには学習が必要になります。更に相手にどのように伝えると有効かということも考えなくてはなりません。これは、教えられる側だけでなく、教える側にとっても、大きな成長機会となります。ここから生まれる様々な作用が、双方の成長となり、これを看護部全職員で行うことにより、個人だけでなく、組織の成長へ繋がっていくものと考えています。

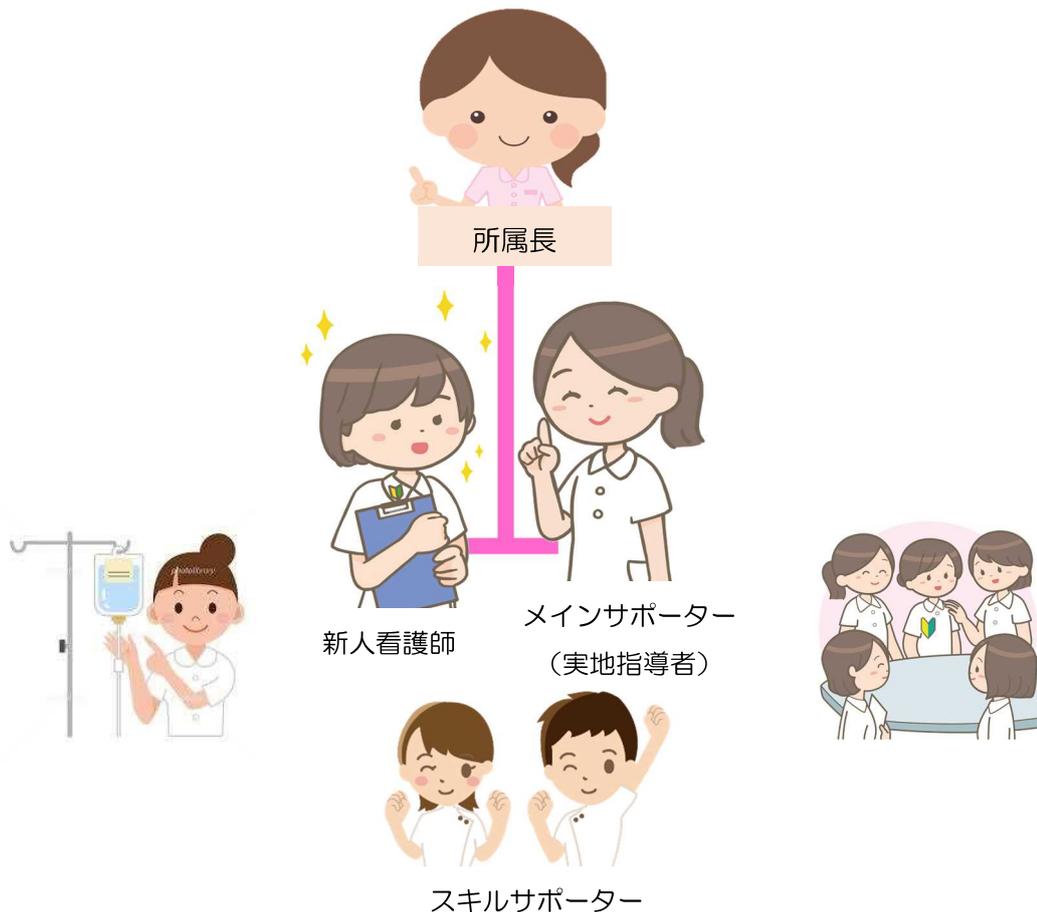
1) 教育体制

(1) 新人教育

看護部全体で新人をサポートできるよう取り組んでいます。

《所属における支援体制》

各所属においては、『チームサポート制』と称し、実地指導者がメインサポーターとなり、新人の業務だけでなく精神的フォローも行います。更に、スキルサポーターとしてスタッフ全員が支え、所属長は、実施指導者のサポーターとなり、連携しながら進めていくという教育システムです。



《看護部における支援体制》

定期的に『新人座談会』を開催します。

入職から3ヶ月毎に新人が集い、自由に話ができる環境づくりをしています。

進行は、所属部署以外の実地指導者が行います。

他部署の新人同士、同じ悩みや困りごとなどを共有したり、進行役からアドバイスをもらえたりする場です。



《その他のサポート》

『チャレンジシート』(図1)や『スキルアップ記録』(図2)の他、指導者だけでなく、所属長との面接など、初めて社会に出て働く新人看護師が、独り立ちできるサポートとなるよう心がけています。

図1

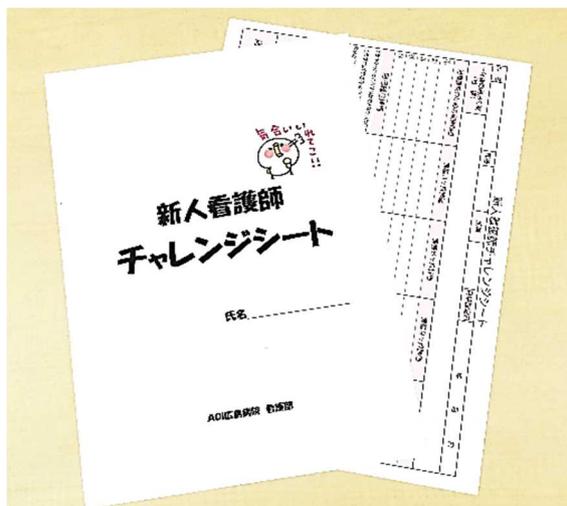


図2



(2) 専門職者教育（看護師・准看護師対象）

看護部職員には、心身ともに健康に活躍していただきたいので、看護領域の研修だけでなく、リフレッシュできるような研修も取り入れるようにしています。

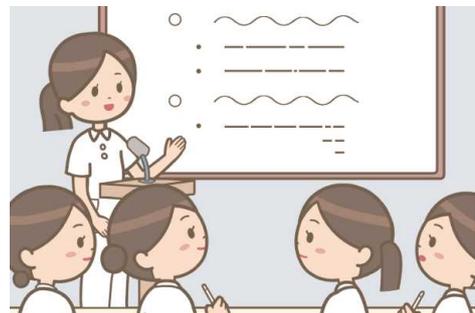
看護領域に関する研修では、主に精神保健福祉法といった法律関係と実技研修など、現状課題となっているものを重点的にプログラムしています。

(3) 看護補助者研修

医療チームの一員として必要な知識、技術を修得できるようプログラムしています。

(4) 管理職者研修

看護師長を対象に毎月実施。



2) 中途採用者サポート体制

当院入職者の9割以上が中途採用者です。

精神科未経験者の入職も多く、全体の6割が未経験者で入職して来られています。

そのような、中途採用者に対しては、必ずペアで業務を行うようにし、個々のペースに合わせて、徐々に一人で業務に入ってもらおうようにしています。

精神科に関する知識については、全体研修と連動させ各病棟において教育が行われています。



3) インターンシップ

看護部では、看護職を対象にインターンシップを行っています。

当院のインターンシップには、1 day コースと2 day コースがあり、実際に当院での看護業務を体験してもらうことができます。

5. 労働環境

ワークライフバランスを最大限サポートし、 働きやすい職場環境を目指しています

ワークライフバランスとは、仕事と生活の両立を無理なく実現できる状態のこと。仕事と生活を調和させることで、両者間に好ましい相乗効果を高めようという考え方とその取り組みを指します。（日本看護協会）

ワークライフバランスを保つためには、規則正しい生活を送り、仕事だけに偏るのではなく、生活の充実にも目を向けることが重要です。そうすることで、気持ちに余裕が生まれ、仕事の生産性を上げることにつながると考え取り組んでいます。

《当院での取り組み》

1) 多様な勤務形態で対応

※実績のある勤務形態（全て個人の事情による）

- ・夜勤免除
- ・日勤のみ
- ・早出若しくは遅出のみ
- ・夜勤のみ
- ・その他、勤務作成上で細かい事情に合わせた対応もしています。



2) 休日希望数の無制限

毎月の公休数は決まっていますが、その中でどうしても必要な休日数は個人によって異なりますので、各自必要数希望できるようにしています。特に子育て世代には好評のようです。

3) リフレッシュ休暇

年間休日111日に加え、年間4日付与されます。

これは、入職当日から付与されますので、年次有給休暇が無い期間に活用できます。

その他、育児休暇、介護休暇も取得実績あり。

職員一人一人が、仕事において最高のパフォーマンスが発揮できるためには、生活の充実が不可欠であると考え、多様なニーズに最大限対応できるよう取り組んでいます